

### 高校ハンド九州選抜予選

ハンドボールの第50回九州高校選抜大会男子選抜最終日は19日、県総合運動公園で、5年連続31度目の頂

点に立った。女子決勝はコザが浦添を32-21で退け、29年ぶり3度目の優勝を飾った。  
男女の優勝、準優勝校は  
▽決勝  
興南 27 | 13 | 14 | 17 | 26 那覇西  
コザ 32 | 20 | 12 | 10 | 11 | 21 浦添

▽決勝  
コザ 32 | 20 | 12 | 10 | 11 | 21 浦添

# 興南V5 接戦制す

男子

鮮やかな逆転劇だった。興南は最大6点差をつけられたが最終盤で同点に追いつき、26-26で試合時間残り6秒の攻撃を迎えた。

相手ゴール前の中央からリスタートし、梶仲真哉が相手を引き付けた。左サイドにパスを送ると、最後は1年生の嵩西遥斗が勢いよく中に切り込んでシュート。大きく手を広げた相手

## ハイライト

GKの左肩の上を通り抜け、ゴール右隅に突き刺さった。同時に試合終了のフサイが鳴ってベンチから選手らが飛び出し、コートには歓喜の輪が広がった。

殊勲の嵩西はけがで途中退場した下地侑帆に変わって後半から出場。前日の準決勝で速攻からのパスをキャッチミスし、決勝は「メンバーに入れないかも」と不安だったという。

だがハーフタイムに出場を告げられると、「強引にシュートを打つていこう」と強い気

## 残り6秒 鮮やか逆転劇



持ちで臨んだ。7本中6本のシュートを沈め、「興南に入らなすく。それでも一まつたからには優勝しないといまだ甘い。もつと攻撃の精度を高めて九州、全国制覇を狙いたい」と先を占據え、中島大智主将は6点差逆転した。(比嘉大照)

男子決勝 興南-那覇西 前半、興南の中島大智が10点目のシュートを決める(小宮健撮影)



男子優勝の興南

## コザ 29年ぶり栄冠

女子

### 攻撃はまり11点差

11月の新人大会決勝と同方みれば11点差をつけて勝利。今1ドとなった女子決勝は、同大会の目標だった「30得点以上」を制したコザが浦添を32-21を達成した。西田こず主将は「後半に攻撃がはまって、目標達成できた。この勢いで九州も優勝したい」と力を込めた。

前半は奮闘に燃える相手に主導権を握られた。狙っていた速攻を封じられると焦り始め逆転に速攻を許し、序盤は追い掛ける展開に。何とか名嘉陽菜、平良心愛の個人での突破から逆転し、前半を11-11で折り返した。ハーフタイムに「落ち着けは勝てる」と声を掛け合っ、後半は冷静さを取り戻した。開始直後、前半は得点かなかった田里優生が立て続けに2本のシュートを放った。決まらなかつたが、これをきっかけに相手は田里を警戒。名嘉に集中したマークが分散され、両サイドに中央と攻撃の幅が広がった。徐々に点差を広げ、終わって



女子決勝 コザ-浦添 前半、コザの名嘉陽菜が高い打点から2点目のシュートを決める



女子優勝のコザ